

2021年3月期 中間決算について

株式会社AIRDOは、本日11月26日(木)、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)中間決算をとりまとめました。詳細につきましては、別添の「2021年3月期 中間決算短信(非連結)」をご覧ください。

1. 2020年9月中間期(2020年4月1日～2020年9月30日)の業績

(1)概況及び経営成績

当中間会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により甚大な影響を受け、航空業界においてはビジネス・観光両面において旅客需要が大幅に消失しました。

北海道は全国でも比較的早期に感染症の影響が発現し、それに伴う旅客需要減退に対して減便・機材の小型化による運航関連費用の削減、設備投資の抑制等を実施し費用削減に取り組みましたが、大幅な収入減を補えるまでに至らず多額の営業損失が発生しました。

感染症の終息が早期には見込めないことから、抜本的な構造改革と費用削減に向けた「危機克服構造改革プロジェクト」を設置し、全社横断的に事業基盤の立て直しを図っております。

空港・機内における感染予防措置にも最大限努めており、常時のマスク等の着用、毎便の清掃や毎日夜間の消毒をはじめ、お客様のご協力もいただきながら、安全・安心な環境づくりに取り組んできました。

また、旅客需要が低迷する中であっても、「北海道の翼」として観光の復興を少しでも後押ししたいとの思いから「北海道応援メッセージ」を広く募集・発信したことに加え、北海道の事業会社・事業体と連携して「HOKKAIDO LOVE！」プロジェクトにも参画し、オール北海道の一員として活動の盛り上げに努めました。

これらの結果、当中間会計期間における営業収入は、コードシェアによる座席販売分を含め、7,813百万円(前年同期比69.2%減)となりました。

費用面では、減便、機材の小型化を実施したこと等により、事業費は13,429百万円(前年同期比30.9%減)となりました。販売費及び一般管理費が1,455百万円(前年同期比35.2%減)となったことで、営業費用は14,885百万円(前年同期比31.3%減)となりましたが、営業収入の減少分が大きく営業損失は7,072百万円、経常損失は7,164百万円、中間純損失は6,765百万円となりました。

(△は損失又は減少)

【経営成績】	前中間会計期間	当中間会計期間	増減	増減率(%)
営業収入 (百万円)	25,337	7,813	△17,524	△69.2
営業費用 (百万円)	21,667	14,885	△6,782	△31.3
営業利益 (百万円)	3,669	△7,072	△10,742	—
営業利益率 (%)	14.5	—	—	—
経常利益 (百万円)	3,456	△7,164	△10,621	—
中間純利益 (百万円)	2,366	△6,765	△9,132	—

(2)運航実績、輸送実績

【運航実績】	前中間会計期間	当中間会計期間	増減	増減率(%)
運航便数 (便)	10,883	6,852	△4,031	△37.0
就航率 (%)	99.4	99.6	+0.2Pt	—
定時運航率 (%)	93.4	98.6	+5.2Pt	—

【輸送実績】	前中間会計期間	当中間会計期間	増減	増減率(%)
提供座席数 (千席)	1,497	766	△731	△48.8
旅客数 (人)	1,160,488	222,009	△938,479	△80.9
旅客キ口 (千人キ口)	1,088,824	209,180	△879,644	△80.8
座席キ口 (千席キ口)	1,404,625	725,878	△678,747	△48.3

(注)輸送実績には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

【路線別座席利用率】	前中間会計期間	当中間会計期間
「札幌－東京」線	77.3%	28.3%
「旭川－東京」線	78.4%	35.4%
「女満別－東京」線	81.5%	29.2%
「釧路－東京」線	80.0%	31.8%
「帯広－東京」線	75.2%	27.7%
「函館－東京」線	78.2%	31.4%
「札幌－仙台」線	73.6%	33.5%
「札幌－名古屋」線	75.8%	27.6%
「札幌－神戸」線	67.3%	11.0%
「函館－名古屋」線	84.6%	17.3%
路線の平均	77.5%	28.8%

(注)路線別座席利用率には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

(3) 財政状態

【財政状態】	前事業年度 2020年3月31日	当中間会計期間 2020年9月30日	増減
総資産 (百万円)	45,543	44,210	△1,333
純資産 (百万円)	12,851	6,676	△6,175
1株当たり純資産 (円)	276,364.05	143,567.82	△132,796.23
自己資本比率 (%)	28.2	15.1	△13.1Pt

2. 2021年3月期の見通し

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然厳しい状況にあり、景気は一部持ち直しの動きがみられるものの、引き続き国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があると見込まれております。

航空業界においては下期以降、需要が徐々に回復の動きを見せておりますが、前期水準までの回復にはなお時間がかかるものと見通しております。

このような状況下で当社は、前述の通り全社でコスト削減を進めていることに加えて、運航開始当初より使用している B767-300ER 型機 2 機の今期中の退役を決定し、運航機材体制のスリム化による固定費の削減を行います。安全を堅持しつつ需要に応じた運航規模の調整を図りながら、徹底したコスト削減と構造改革を引き続き進めていきます。

また、当面の資金繰りに対応すべくこれまでに計 100 億円超の運転資金を調達しておりますが、今後も安定的な事業継続のために必要な資金調達に取り組んでまいります。

なお、2021年3月期の業績見通しについては、下期以降の需要回復の主要因は GoTo トラベル事業によるところが大きい一方で、北海道と東京での感染再拡大が今後の需要回復を大きく遅らせる可能性があること等から、現時点において合理的な算定が困難であるため未定とし、開示が可能となった時点で速やかに公表をいたします。

以上

(別添)

2021年3月期 中間決算短信 (非連結)

2020年11月26日

会社名 株式会社AIRDO
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草野 晋
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部担当 (氏名) 浦澤 英史
半期報告書提出予定日 2020年12月23日
TEL (011) 252-5533

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月中間期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

Table with 5 columns: Item, Sales (百万円, %), Operating Profit (百万円, %), Regular Profit (百万円, %), and Intermediate Net Profit (百万円, %). Rows for 2020 and 2019 9-month periods.

Table comparing per share intermediate net profit for 2020 and 2019 9-month periods, including potential profit after adjustment.

(2) 財政状態

Table with 5 columns: Total Assets, Net Assets, Equity Ratio, and Net Assets per Share. Rows for 2020 9-month period and 2020 3-month period.

(参考) 自己資本 2020年9月中間期 6,676百万円 2020年3月期 12,851百万円

2. 配当の状況

Table showing annual dividends by quarter (第1四半期末, 第2四半期末, 第3四半期末, 期末) and total for 2020 3-month, 2021 3-month, and 2021 3-month forecast.

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日) (%表示は、対前期増減率)

Table with 6 columns: Item, Sales (百万円, %), Operating Profit (百万円, %), Regular Profit (百万円, %), Current Net Profit (百万円, %), and Net Profit per Share (円). Row for '通期' (through period).

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2021年3月期の業績予想については、現時点において合理的に算定することが困難なことから未定とし、開示が可能となった時点で速やかに開示致します。

※注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月中間期	46,501株	2020年3月期	46,501株
② 期末自己株式数	2020年9月中間期	－株	2020年3月期	－株
③ 期中平均株式数	2020年9月中間期	46,501株	2020年3月期	46,501株

※ 中間決算短信は監査法人による中間監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

貸借対照表

(2020年9月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	19,321	流動負債	9,869
現金及び預金	15,918	営業未払金	5,327
営業未収入金	530	1年内返済予定の長期借入金	350
有価証券	1,458	1年内返済予定の関係会社長期借入金	275
たな卸資産	286	リース債務	1,980
前払費用	312	未払金	918
未収還付法人税	3	未払法人税等	14
その他	811	その他	1,003
固定資産	24,888	固定負債	27,665
有形固定資産	14,565	長期借入金	5,700
航空機	2,676	関係会社長期借入金	5,550
リース資産	11,270	リース債務	10,770
その他	618	退職給付引当金	861
		航空機材整備引当金	4,783
無形固定資産	490	負債合計	37,534
		純資産の部	
投資その他の資産	9,832	株主資本	7,156
投資有価証券	200	資本金	2,325
長期前払費用	7,569	資本剰余金	947
繰延税金資産	1,645	その他資本剰余金	947
その他	417	利益剰余金	3,883
		利益準備金	197
		その他利益剰余金	3,685
		繰越利益剰余金	3,685
		評価・換算差額等	△480
		繰延ヘッジ損益	△480
		純資産合計	6,676
資産合計	44,210	負債純資産合計	44,210

損益計算書

(自 2020 年 4 月 1 日 至 2020 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

科 目	金	額
営業収入		7,813
事業費		13,429
営業総損失		△5,616
販売費及び一般管理費		1,455
営業損失		△7,072
営業外収益		
受取利息	5	
有価証券利息	9	
受取手数料	4	
受取助成金	287	
為替差益	21	
その他	14	343
営業外費用		
支払利息	335	
原油スワップ差損	94	
その他	5	436
経常損失		△7,164
特別損失		
減損損失	194	194
税引前中間純損失		△7,358
法人税、住民税及び事業税	6	
法人税等調整額	△599	△593
中間純損失		△6,765